

こころといのちの講演会（若年層向け） 実施内容

1回目：平成27年度 3月（共催：文京区）

日時：平成28年3月24日（木曜日）14時～17時30分

場所：東洋大学白山キャンパス 2号館 16階スカイホール

協力大学：東洋大学社会福祉学科 加山准教授とそのゼミ生約15名

参加人数：105名【学生34名、都民60名、関係団体2名、行政職員9名】

内容：第一部 講演

●石井 綾華 氏（NPO 法人 Light Ring. 代表理事）「自殺うつ予防～若者が若者を支える仕組みづくり～」

●大野 裕 氏（（一社）認知行動療法研修開発センター理事長）

「こころを元気にする、「こころのスキルアップ・トレーニング」」

第二部 学生によるワークショップ【東洋大学等34名参加】

※大学生にありがちな状況を事例として挙げ、それに対してどのように行動すべきか、1グループ5～6人で検討し、最後にグループごとに発表して共有した。都の保健師がファシリテーターとして各グループに参加した。学生以外の一般参加者は、周囲で傍聴。

2回目：平成28年度 9月（共催：豊島区）

日時：平成28年9月13日（火曜日）14時～17時

場所：東京都庁5階 大会議場

協力大学：大正大学人間学部社会福祉学科 坂本教授とそのゼミ生

※企画・検討は5～7名程度で進め、当日はゼミ全体で約50名が参加。

参加人数：163名【学生72名、都民39名、関係団体7名、行政職員45名】

内容：第一部 講演

●根岸 親 氏（NPO 法人自殺対策支援センターライフリンク 副代表）

「生きづらさへの処方箋～若年層の自殺の実態と今、私たちにできること～」

第二部 学生によるワークショップ【大正大学等48名参加】

※大学生にありがちな状況を事例として挙げ、それに対してどのように行動すべきか、1グループ6～7人で検討し、最後にグループごとに発表して共有した。大正大学の学生がファシリテーター役を務めた。学生以外の一般参加者は、周囲で傍聴。

3回目：平成29年度 9月（共催：なし）

日時：平成29年9月30日（土曜日）14時～17時

場所：東京福祉大学 池袋キャンパス

協力大学：東京福祉大学 心理学部長 鈴木教授と関係学生6名程度

参加人数：98名【学生23名、都民46名、関係団体14名、行政職員15名】

内容：第一部 講演

●鈴木 康明 氏（東京福祉大学）「生きていく力とは？～若者の居場所、生きがい～」

★区市町村の取組事例『豊島区「若者のいのちを守る」ハートプロジェクト事業』

第二部 学生によるパネルディスカッション【東京福祉大学生6名】

※大学生が、今「なぜ」自分は生きているのか議論を行い、誰もが生きていくことを肯定的に考えられるような社会、自殺に追い込まれることのない社会の形成について考えるパネルディスカッションを実施。司会は学生が務め、途中、参加者（一般都民）からの質疑を受け付けた。

4回目:平成30年度9月(共催:大田区)

日時:平成30年9月7日(金曜日)14時～17時

場所:東京都議会議事堂1階 都民ホール

協力大学:東京工科大学医療保健学部看護学科 五十嵐教授とゼミ生20名

参加人数:115名【学生27名、都民40名、関係団体18名、行政職員30名】

内容:第一部 講演

●五十嵐 千代 氏(東京工科大学)「若者の自殺対策を考える」

第二部 学生によるシンポジウム【東京工科大学学生20名】

※前半は、大学生特有の自殺の原因やゲートキーパーとしての役割、大学生のSNSの利用の実態や相談先について、学生が3グループに分かれてプレゼンテーションを実施。後半は、代表の学生が登壇し、五十嵐教授の司会のもと、SNSを利用した自殺対策等についてシンポジウムを行う。参加者(一般都民等)も交え、会場全体で討論を行った。

5回目:令和元年度9月(共催:港区)

日時:令和元年9月2日(月曜日)13時30分～17時

場所:港区みなと保健所 8階ホール

協力大学:明治学院大学経済学部国際経営学科 岩尾俊兵先生とゼミ生17名

参加人数:95名【学生21名、都民50名、関係団体12名、行政職員12名】

内容:第一部 講演

●高宮 有介 氏(昭和大学医学部教授)

「死から生といのちを考える～生まれてきた意味・役割は何か、あなた自身の心のケア～」

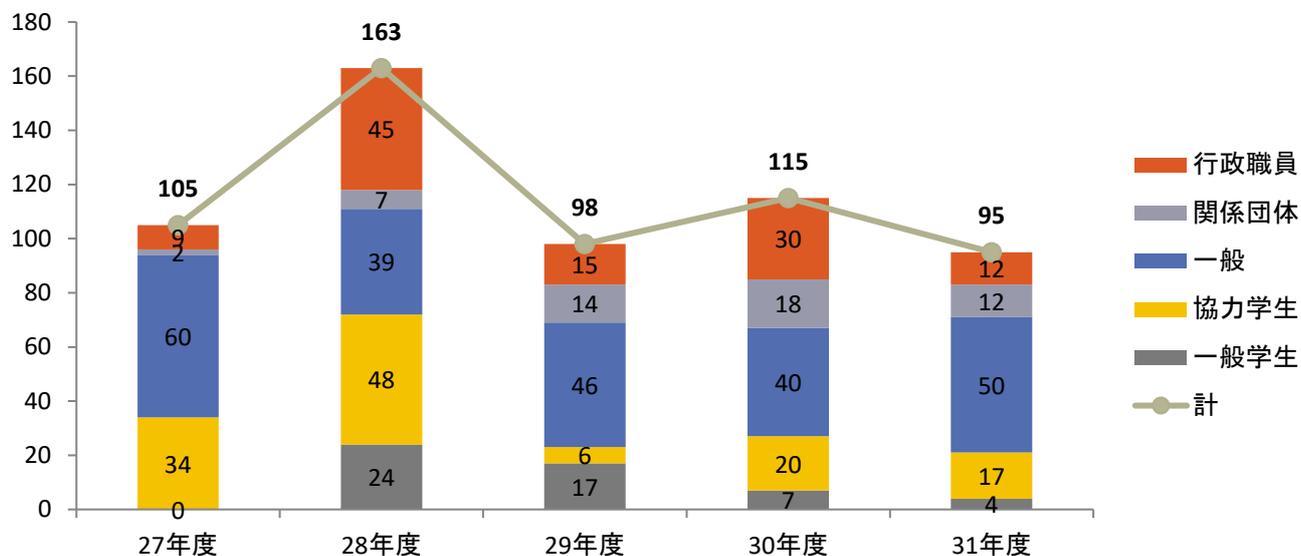
第二部 岩尾 俊兵 氏「ストレスフルからマインドフルへ:メンタルケアの経営科学」

学生と参加者によるワールドカフェ【明治学院大学学生17名】

※前半は、各種統計から見られる自殺の社会的な要因や、コミュニティの働きについて岩尾講師から説明。後半は、学生がファシリテーターを務め、「今日を生きてほしい若者に、今日私たちに何ができるか？」をテーマに、参加者(一般都民等)とワールドカフェを行った。

こころといのちの講演会(若年層向け) 過年度実績比較

(1) 参加者数

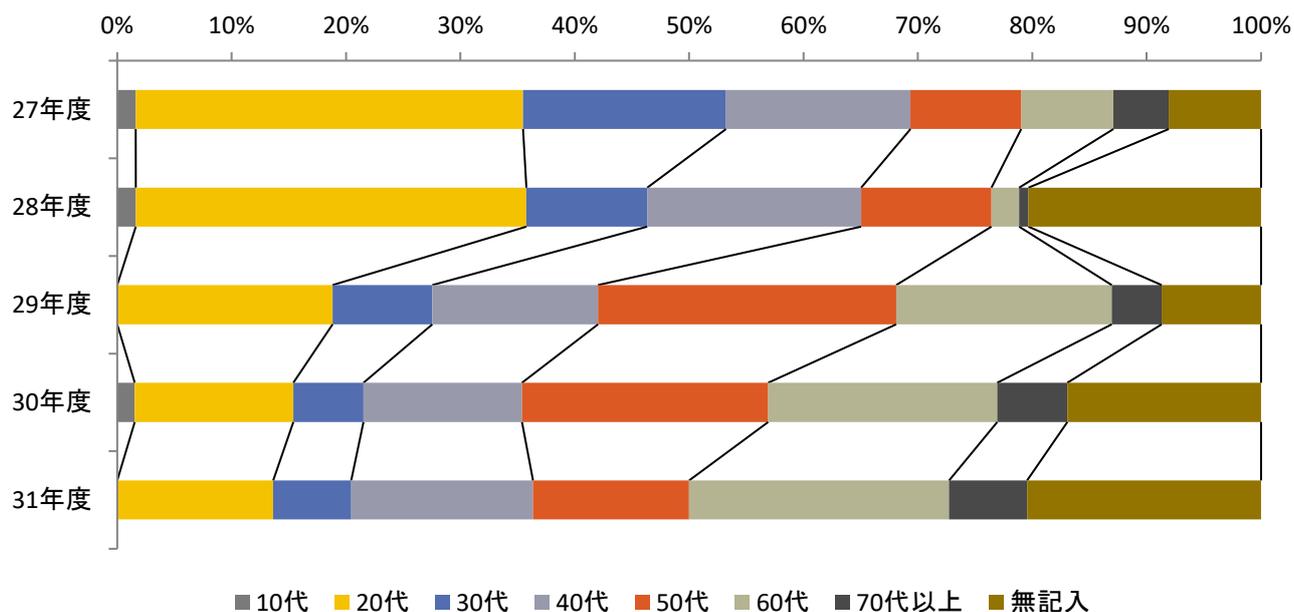


	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
一般参加(学生)	0	24	17	7	4
協力学生	34	48	6	20	17
一般参加(学生以外)	60	39	46	40	50
関係団体	2	7	14	18	12
行政職員	9	45	15	30	12
計	105	163	98	115	95

評価

- ・ 28年度を除き、全体参加者数は100名前後で推移。
28年度も、参加者の大部分が協力学生・行政職員が占めており、一般に訴求したとは言い難い。
- ・ 28年度・29年度を除き、一般学生の参加者数は一桁台で推移しており、低迷。

(2) 参加者年代



	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
10代	1	2	0	1	0
20代	21	42	13	9	6
30代	11	13	6	4	3
40代	10	23	10	9	7
50代	6	14	18	14	6
60代	5	3	13	13	10
70代以上	3	1	3	4	3
無記入	5	25	6	11	9
計	62	123	69	65	44
回収率	59.0%	75.5%	70.4%	56.5%	46.3%
30代以下割合	53.2%	46.3%	27.5%	21.5%	20.5%

評価

- アンケート回収率にばらつきがあるため一概には比較できないが、直近3か年は、30代以下の参加者が3割を切っており、若年層の集客には結びついていない。